

[公開版]卒業生アンケートによる本学の学びの評価

本報告は、2021 年度卒業生を対象に行った「2025 年度 清泉女子大学「大学での学びとキャリア」についての調査」(以下「卒後 3 年アンケート」)の結果から、卒業後 3 年が経過した時点で「大学卒業時点」を振り返ったときの「学びの達成度」や本学での学びの評価、大学時代に身につけておきたかったことなどをまとめたものである。卒後 3 年アンケートは 2025 年 8 月 2 日～8 月 23 日まで Google Form を用いて実施し、対象者 439 人中 127 人から回答を得た(回答率 29%)。回答者の内訳は日本語日本文学科(日文)27 人・英語英文学科(英文)36 人・スペイン語スペイン文学科(西文)11 人・文化史学科(文化史)39 人・地球市民学科(地民)14 人であった。結果の概略は以下のとおりである。

[1.卒業後 3 年時点でのキャリア・学び・生成 AI とのかかわり]

- 回答者の 83%が正社員として就労していた。また、正社員として就労している卒業生のうち、64%は転職の経験がなく、新卒で就職した会社に今でも勤務していた(表 1-1、表 1-2)。
- 54%の卒業生は、卒業後においても、企業や大学が提供するコンテンツやサービスを利用して学んでいた(表 1-3)。
- 75%の卒業生が生成 AI を利用していた。利用目的は「情報収集」がもっとも多く(74%)、ついで「会話や相談」(43%)であった。会社からアカウントを配布されているのは 21%、使用を禁じられているのは 14%であった(表 1-4、表 1-5、表 1-6)。

[2.大学の学びの評価(学部および学科)]

- **大学での学び**：全学 DP は表 2-1 のとおりである。卒業後 3 年経過してから卒業時点を振り返った回答者のうち、全学 DP4 に対応する「議論の場において対話を続けようとする姿勢」を「身につけることができた・やや身につけることができた」と回答したのは 44%であり、達成(資質・能力の獲得)への肯定的な回答が 50%を下回っていた。また DP1 に対応する「建学の精神に基づく奉仕的な行動」も肯定的な回答は 57%であった。一方で DP4「基本的な英語運用能力」と DP1「豊かな教養」については、肯定的な回答が多かった(それぞれ 91%、85%)(図 2-1)。
- **専門での学び**：学科 DP は表 2-2 のとおりである。学科での学びの達成に関する自己評価について、達成への肯定的な回答(身につけることができた・やや身につけることができた)はすべて 50%を上回っていた(図 2-2)。また、専門の学びが仕事において役に立ったかという問いについて、どの学会においても肯定的な回答が 50%を上回っていた(図 2-3)。
- **社会に出てから必要だと感じた学び**：「今から大学生活を振り返ってみて、授業において、もっと学びたかった・身につけたかった・やりたかったと思うこと」についてたずねたところ、もっとも多かったのは「英語・スペイン語などの語学(スピーキング)」(56%)、ついで「文章を読む力、文章で伝える力」(43%)であった(表 2-3)。

これらの結果から、本学の卒業生は、卒業時において求められる資質・能力をある程度は達成して卒業していると自らを評価しつつ、社会に出てから学びに不足を感じている点がある、と考えられる。

1. 卒業後3年時点でのキャリア・学び・生成AI とのかかわり

表 1-1：現在の状況

1.現在、正社員として就労している (育休・産休・その他の理由で休業 している場合を含む)	83% (105人)
2.現在、正社員以外の勤務形態で就 労している(パートを含む)	11% (14人)
3.現在、就労していない	6% (8人)

表 1-2：卒業生(正社員)の転職状況

1.卒業後1社目(卒業後に入社した 会社から転職していない)	64% (67人)
2.卒業後2社目(卒業後に入社した 会社から1回転職した)	32% (33人)
3.卒業後3社目以上(卒業後に入社 した会社から2回以上転職した)	4% (4人)

表 1-3：卒業後の学習状況

企業が提供する対面教育(英会話学校やカルチャースクール) を利用して学んでいる・学んだことがある	13% (16人)
企業が提供するオンライン講義・教材(アプリやオンライン英会話、通信教育、 Udemyなどを含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	33% (42人)
大学・大学院などの教育機関が提供する対面教育(単発・ 短期の集中講座を含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	12% (15人)
大学・大学院などの教育機関が提供するオンライン講義・教材(edXやJMooc、 放送大学などを含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	6% (8人)
あてはまるものはない	46% (59人)

表 1-4：生成AI 利用状況(公私問わず)

ほぼ毎日利用している	20%(25人)
週に1回程度利用している	10%(13人)
月に1~2回程度かそれ以下	20%(26人)
週に数回程度利用している	24%(31人)
使っていない	25%(32人)

表 1-5：生成AI の利用目的

a. 情報の収集	74%(76人)
b. 資料等の作成	29%(30人)
c. 外国語の翻訳	22%(23人)
d. 語学学習	12%(12人)
e. 画像の生成	16%(16人)
f. 作曲等音楽の生成	2%(2人)
g. 詩、物語、小説等の作成	4%(4人)
h. 会話や相談	43%(44人)
その他の使い方	10%(10人)

表 1-6：生成AI の業務利用状況

a. 仕事で利用している(自分の個人アカウントで使っている)	23%(29人)
b. 仕事で利用している(会社から配布されたアカウントで使っている)	21%(27人)
c. 仕事では利用していない(自分の判断で使わないようにしている)	42%(53人)
d. 仕事では利用していない(会社から使うなと言われている)	14%(18人)

2. 大学の学びの評価(学部および学科)

評価の基準となる文学部（全学）DP と学科 DP は以下のとおりである。

表 2-1：清泉女子大学 文学部 DP（2021 年度以前）

清泉女子大学文学部は、本学に所定の年限在籍し所定の単位を修得し、次のような知識、技能、態度、資質を備えた学生に対して卒業を認め、学士の学位を授与する。

(DP1) 豊かな教養と専門領域の学芸を修得している。

(DP2) 建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムを理解し、他者を思いやる人間性を持ち、奉仕の精神を持って行動できる。

(DP3) 複雑な事象を前にしても、問題の根源にさかのぼって論理的に思考を重ね、解決を目指すことができる。

(DP4) 言語等によるコミュニケーションの能力を備え、多様な立場や考え方が交錯する中でも対話を続ける姿勢を保つことができる。

(DP5) 文化の多様性を理解し、個々の文化の個性を尊重し、国際社会の中で活躍するための基本的な資質を備えている。

(DP6) 常に学ぶ態度を忘れず、知識を広め教養を深めて、自分を豊かにしていくことができる。

表 2-2：学科 DP（2021 年度以前）

- 日本語日本文学科ディプロマ・ポリシー
(日 DP1) 日本語学・日本古典文学・日本近代文学の三分野において豊かな教養と深い専門的知識を修得している。
(日 DP2) 日本語及び日本文学の知見に立って、論理的な思考力と優れた表現力を備えている。
(日 DP3) 国際貢献の土台となる、自国の文化への深い理解を持っている。
- 英語英文学科ディプロマ・ポリシー
(英 DP1) 英語運用技能（読む、書く、話す、聴く）を修得している。
(英 DP2) 英語学と英米文学を中心とした英語で書かれた文学における専門的知識を持っている。
(英 DP3) 広い視野と深い教養を持っている。
(英 DP4) 多様な文化への理解がある。
(英 DP5) 国際社会に貢献できる。
- スペイン語スペイン文学科ディプロマ・ポリシー
(西 DP1) スペイン語の基本技能（読む、書く、話す、聴く）を修得している。
(西 DP2) スペイン語で書かれた文学を学修している。
(西 DP3) 広い視野と深い教養を持っている。
(西 DP4) 多様な文化への理解がある。
(西 DP5) 国際社会に貢献できる。
- 文化史学科ディプロマ・ポリシー
(文 DP1) 歴史・美術史・思想史・宗教史の四つの専門分野ならびに関連分野を学修し、いずれかの分野の専門的能力を備えている。
(文 DP2) 先入観や偏見にとらわれることなく、広い視野から専門分野にかかわる諸問題に取り組み、批判的・自律的に考えることができる。
(文 DP3) 異文化や他者を理解し、よりよい世界の構築に寄与しようという意識をもって思索を重ねることができる。
- 地球市民学科ディプロマ・ポリシー
(地 DP1) 主体性・責任感・協調性を修得している。
(地 DP2) 判断・批判・対話・創造・実践の各能力を修得している。
(地 DP3) 地球社会の諸問題を国家や民族の枠組みを超えて、人類の共生という視点を理解し、解決していくことができる。
(地 DP4) 英語等外国語運用能力を修得している。

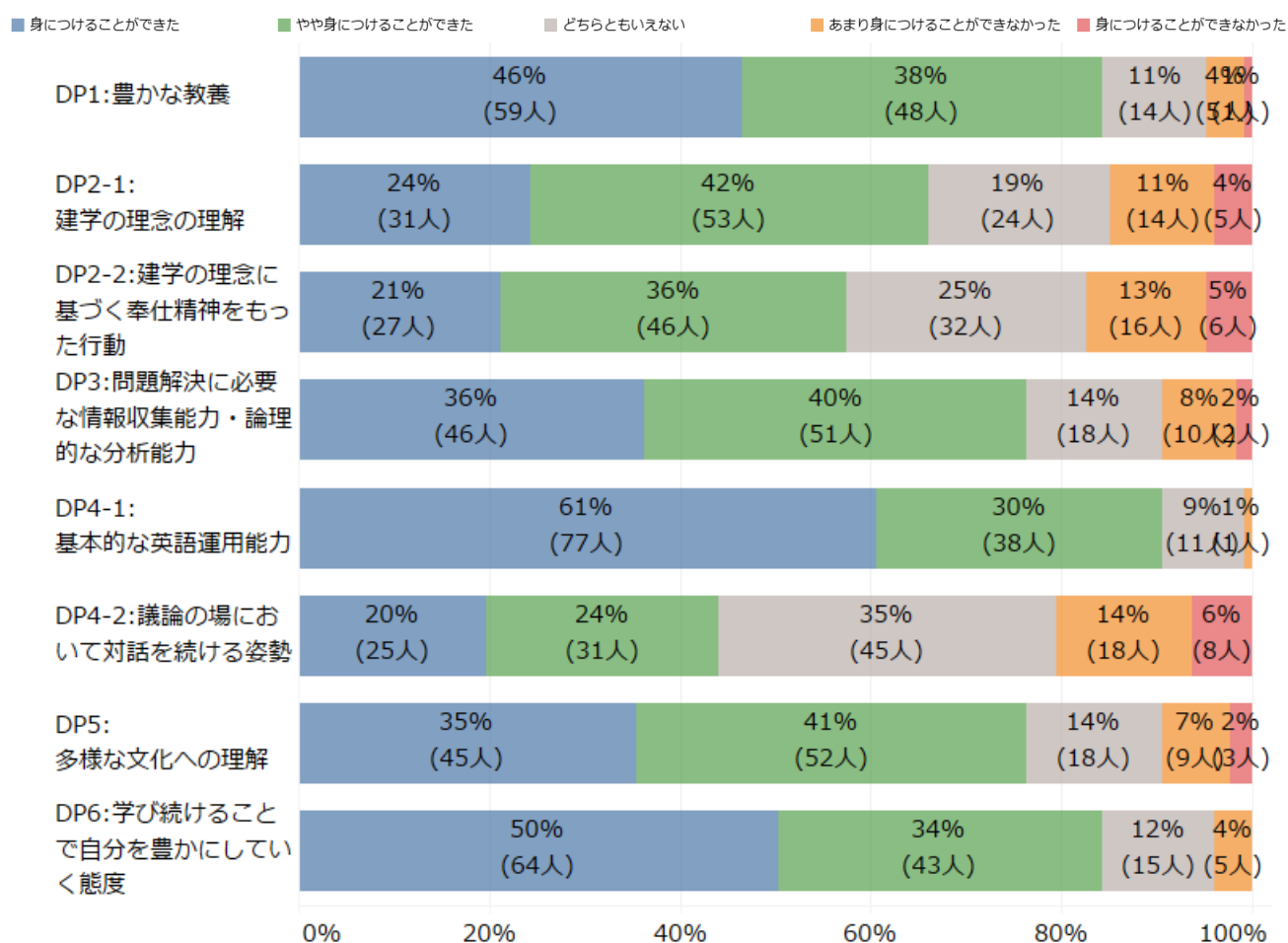


図 2-1 : DP 達成度(自己評価)の分布

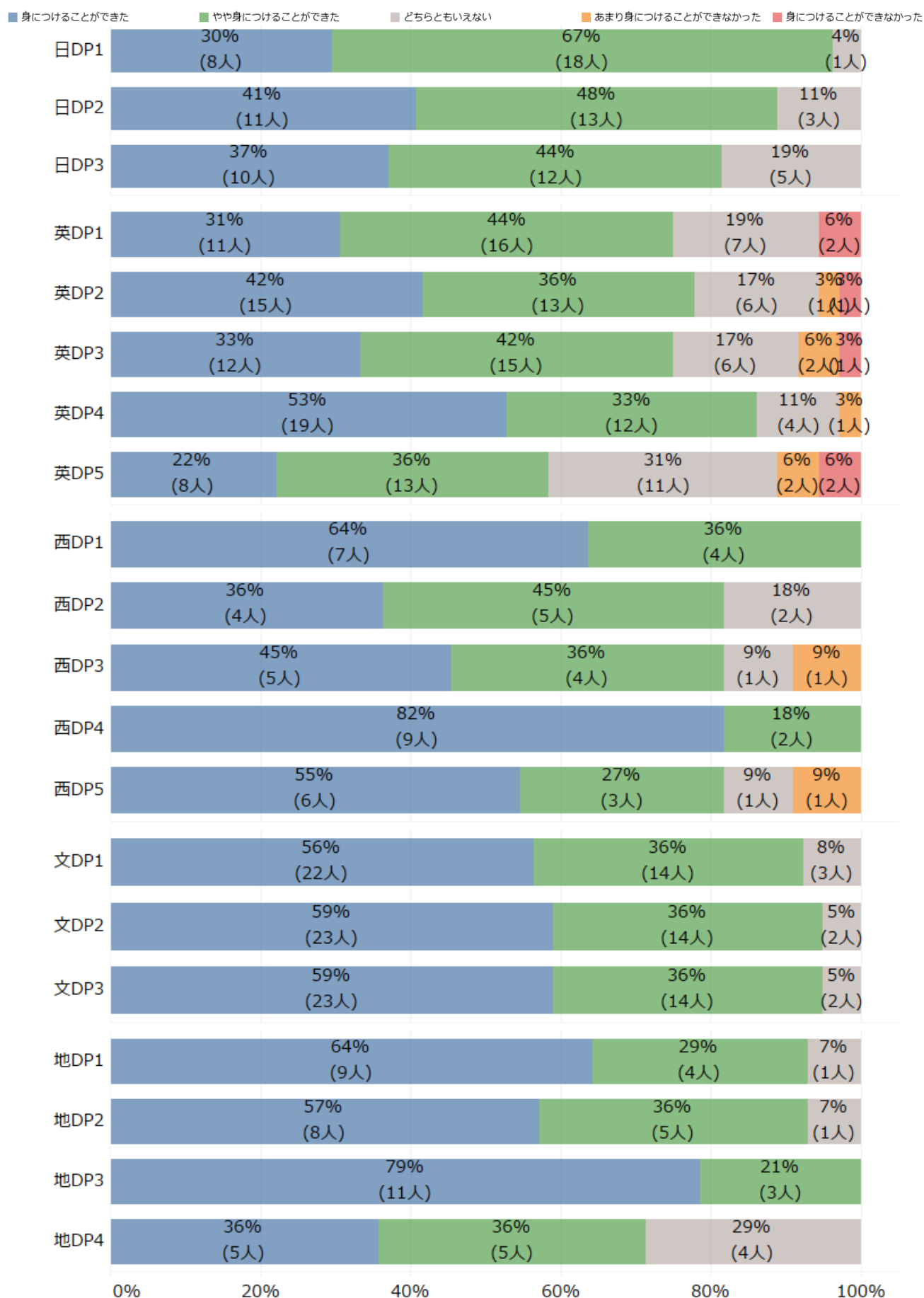


図 2-2：学科 DP 達成度(自己評価)

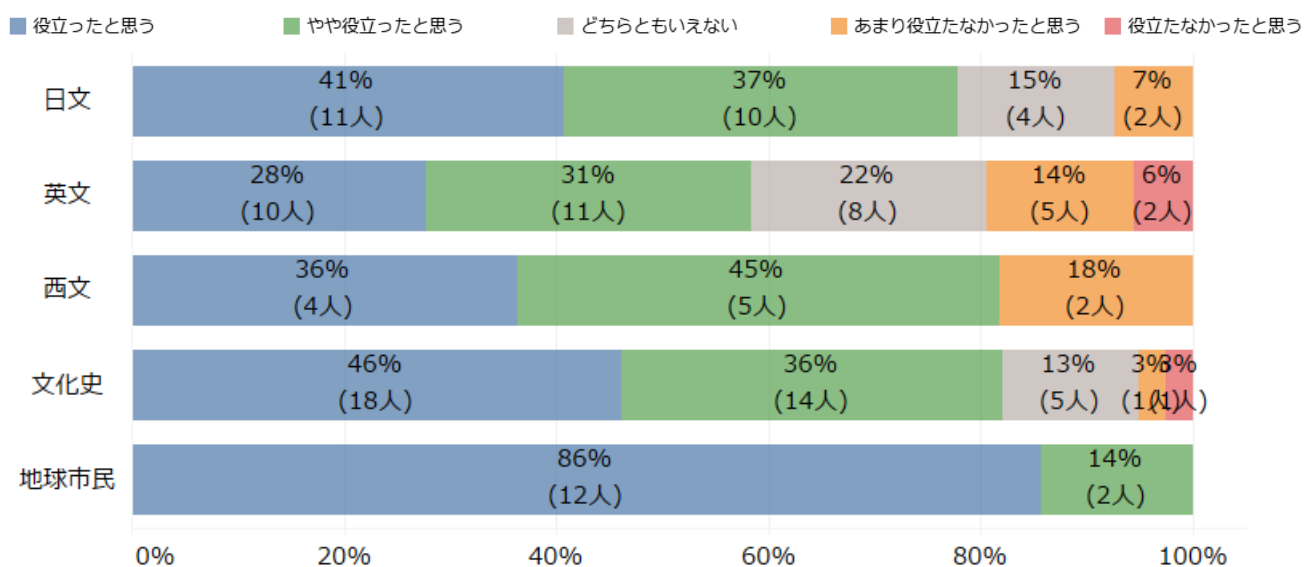


図 2-3：専門科目の学びで身につけたことが社会に出てから役に立ったか

表 2-3：在学中にもう少し学んでおきたかった・身につけたかったこと

1.英語/スペイン語などの語学（会話・スピーキング）	56%(71人)
2.英語/スペイン語などの語学（読解・リーディング）	27%(34人)
3.学科における専門分野の学び	27%(34人)
4.理科系の教養科目（物理・数学・化学など）	6%(7人)
5.社会系の教養科目（法学・経営学・商学・経済学・政治学・社会学など）	37%(47人)
6.データ系の教養科目（統計・AIデータサイエンス）	36%(46人)
7.文章を読む力、文章で伝える力	43%(55人)
8.数値や表、グラフ等を読む力、それらをもとに考えたり伝えたりする力	39%(50人)
9.グループで問題を発見し、問題の解決に向けて協働する力	25%(32人)
10.とくにない	2%(3人)
11.その他	3%(4人)

以上